

～脱炭素社会実現への廃プラスチックの取扱い～ オンライン配信のご案内

世界が脱炭素社会の実現に舵を切るなか、日本も温室効果ガスを 2050 年までに全体としてゼロにするカーボンニュートラル（CN）を達成することを国の目標としています。廃棄物分野でも最大限の取組が求められていると言え、そのカギはプラスチックの取扱いだと言えます。プラスチックごみの発生抑制とリサイクル促進を目指す「プラスチック資源循環法」が今年の 4 月に施行されました。環境省に基調講演として「脱炭素社会と循環経済社会の実現に向けた廃棄物分野の重点施策」についてお話いただきます。さいたま市には地方行政解説として「さいたま市一般廃棄物の減量化及び資源循環施策」をお話いただきます。分別回収した「プラスチックの国内資源循環に向けて」をプラスチック循環利用協会にお話いただきます。また国際的に議論されている「サーキュラーエコノミー（循環経済）」は欧州委員会が発表した（CE）政策パッケージであり、この内容について「サーキュラーエコノミーと廃プラスチック対策」を『サーキュラーエコノミー』（けいそう書房）の編著者である東京大学の梅田靖教授に特別講演をしていただきます。ご期待ください。

1. 開催日時：2022（令和 4）年 11 月 30 日（水）14：00～17：00

開催当日の視聴が出来ない方は、オンデマンドサービスで、12 月 1 日以降 12 月末まで視聴可能

2. 事前登録：参加には事前登録が必要です。参加者は視聴と資料のダウンロードが出来ます。

3. 定員：300 名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

4. 事前登録申込締切：11 月 26 日（土）

5. 主催：(株)廃棄物工学研究所

6. 後援：環境省

7. 協賛：(公財)廃棄物・3R 研究財団、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、(一社)環境衛生施設維持管理業協会
(一財)日本環境衛生センター、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(一社)プラスチック循環利用協会

8. 協力：(一社)日本環境衛生施設工業会、(一社)廃棄物資源循環学会、(公社)全国都市清掃会議

(公社)全国産業資源循環連合会、(一社)日本産業機械工業会、(一社)持続可能社会推進コンサルタント協会

(一社)廃棄物処理施設技術管理協会、(一社)日本ガス協会、ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会

有害・医療廃棄物研究会、産業廃棄物処理業経営塾 OB 会、フォーラム環境塾・NPO 法人都市環境フォーラム

9. 事前登録費：上記協賛協力団体会員：6,000 円、非会員：12,000 円、自治体職員：4,000 円、学生：2,000 円

10. プログラム

時間	講演内容	講演者
14:00～14:15	オープニング・スピーチ シンポジウムの企画の趣旨	(株)廃棄物工学研究所代表 岡山大学名誉教授 田中 勝
14:15～14:45	基調講演：脱炭素社会と循環経済社会の実現に向けた廃棄物分野の重点施策	環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課・課長 筒井誠二 氏
14:45～15:15	地方行政解説：さいたま市一般廃棄物の減量化及び資源循環施策	さいたま市環境局資源循環推進部資源循環政策課・課長 永堀 恵 氏
15:15～15:25	休憩	
15:25～15:55	特別講演 1：プラスチックの国内資源循環に向けて	(一社)プラスチック循環利用協会 専務理事 土本一郎 氏
15:55～16:40	特別講演 2：欧州委員会のサーキュラーエコノミーと廃プラスチック対策	東京大学大学院工学系研究科人物工学研究センター教授 梅田 靖 氏
16:40～17:00	クロージング・リマーク	(株)廃棄物工学研究所代表 岡山大学名誉教授 田中 勝

11. 申し込み方法：<http://www.riswme.co.jp>にてお申し込みください。

12. 振込み先：りそな銀行 芝支店（普）1490768 か)ハキヅツウカクケンキュウシヨ

お問合せ先：運営事務局 (株)廃棄物工学研究所（担当：石井） Tel/Fax 086-239-5303

事前登録のお申し込みは、申込用紙にご記入の上、メール添付にてお送りください。 info@riswme.co.jp